

【完全攻略】ごみの埋立地が変貌した「海の森公園」 おすすめルート&誕生ストーリーに迫る



実はこの場所、かつては数千万トンもの「ごみ」と「建設発生土」でできた埋立地でした。それがなぜ、東京ドーム約13個分の美しい公園に生まれ変わったのか？知られざる「サンドイッチ工法(構造)」の秘密とは？

高さ14mの巨大遊具がある「わいわい広場」や、ボールを使って遊びまわれるエリア「つどいの草原」、そして東京を一望できる「西の小山」など、遊びと学びが詰まったおすすめルートを完全攻略します！

動画はこちら

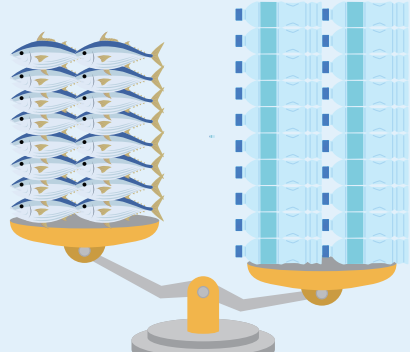


環境TOPIC

2050年の海では、プラスチックごみが魚の重量を超える？



海洋汚染の原因は私たち人間の活動であるということ。そのことを忘れてはいけません。海洋ごみの約8割が陸域で生まれ、川を通じて海に流入しているのです。特にプラスチックごみは自然に分解されないため、半永久的に海洋に残り続けます。2050年にはプラスチックごみが魚の重量を超えるとされる今、これ以上ごみを増やさない取組を、私たち一人ひとりが始めなければなりません。



講座のお申し込み方法

申込
方法

窓口・電話・環境情報センター「エコノバ」HPのいずれかでお申込みください。
(申込多数の場合は抽選)
※講座の詳細は、環境情報センター「エコノバ」までお問い合わせください。

HPでの
申込は
こちら



中央区立環境情報センター「エコノバ」

住所：〒104-0031
東京都中央区京橋3丁目1番1号
東京スクエアガーデン6階

電話：03-6225-2433
営業時間：午前9時～午後9時
休館日：年末年始(12月29日～1月3日)

イベント情報やお役立ち環境情報発信中！みてね！



HP



Instagram



X(旧 Twitter)



YouTube



- ・東京メトロ銀座線「京橋駅」3番出口直結
- ・東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口より徒歩2分
- ・都営浅草線「宝町駅」A4番出口より徒歩2分
- ・JR「東京駅」八重洲南口より徒歩6分
- ・JR「有楽町駅」京橋口より徒歩6分

エコノバだより

No.56 / 2026.6

みんなで描く、豊かな未来。



中央区立環境情報センター

「エコノバ」
2026

令和8年度 中央区総合環境講座

海と地球を支える私たちの生活

6月17日(水)～12月5日(土) 全9回



中央区立環境情報センター



6月5日は「環境基本法」により、「環境の日」と定められています。環境省では毎年、環境の日を含む6月を「環境月間」としており、全国で環境に関するさまざまな行事が行われています。中央区は2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを達成するため、「ゼロカーボンシティ中央区宣言」を行い、実現に向けた取組を行っています。環境月間イベントに参加して、環境について考えてみましょう。

第23回 中央区エコまつり

6/7(日) 10:00-15:00

対象 どなたでも

場所 中央区立あかつき公園

申込期間 申込不要



「エコまつり」は、「知ろう！やろう！私たちにできるエコ」をテーマに、地球温暖化や自然保護、リサイクル、ごみの減量などさまざまな環境問題について、子どもから大人まで楽しみながら学ぶことができる環境イベントです。



「エコノバ」のブースは、普段センターで開催している自由工作コーナーの出張版！紙パックを使った紙とんぼ作りができます！

【環境活動登録団体の出展もあります】

竹紙 ORIGAMI でパンダや里山のいきものを作ろう

協力 NPO 法人 グリーンネットワーク・ジャパン

木工クラフト・環境紙芝居

協力 特定非営利活動法人 地球緑化センター

環境月間イベントスケジュール

5月15日(金)申し込み開始／全講座受講料無料

間伐材工作をしよう

6/14(日)

10:00-12:00



対象 小学生とその保護者

定員 12組(申込多数の場合は抽選)

場所 環境情報センター「エコノバ」研修室

講師 エコノバ職員

申込期間 5/15(金)～6/4(木)

「リサイクルはがき」を作ろう

6/20(土)

10:00-11:30



対象 小学生とその保護者

定員 16組(申込多数の場合は抽選)

場所 環境情報センター「エコノバ」研修室

講師 公益財団法人 古紙再生促進センター

申込期間 5/15(金)～6/10(水)

身近な筆記具でSDGsを学ぶ！ ペンのリサイクル体験と 万年筆の組立ワークショップ

6/21(日)

10:00-12:00



対象 中学生以上の方

定員 20名(申込多数の場合は抽選)

場所 環境情報センター「エコノバ」研修室

講師 株式会社パイロットコーポレーション

申込期間 5/15(金)～6/11(木)

天然の植物の香りで アロマルームスプレーを作ろう

6/27(土)

14:00-16:00



対象 18歳以上の方

定員 15名(申込多数の場合は抽選)

場所 環境情報センター「エコノバ」研修室

講師 菅原薫子氏(ボタニカルライフプランナー協会)

協力 株式会社chic aroma

申込期間 5/15(金)～6/17(水)

森のコルクボードを作ろう

6/28(日)

14:00-15:30



対象 小学生とその保護者

定員 10組(申込多数の場合は抽選)

場所 環境情報センター「エコノバ」研修室

講師 萩原 循氏(森林インストラクター会フォレスト)

申込期間 5/15(金)～6/18(木)

自由工作コーナースペシャル いろいろな素材で作品づくり

6/13(土)

9:00-17:00



どなたでも 入場自由

6月は環境月間にちなんで、自由工作もスペシャルに開催！今回は紙パックや紙芯・木材など、いろいろな素材を使えます。好きな素材を使って、オリジナルの作品を作ってみましょう。

-入場自由- 展示期間 6/1(月)～6/30(火) 9:00-21:00

展示 環境月間と中央区の取組紹介

6月は環境月間です。環境月間についてのご紹介と、中央区での環境に関する取り組みをご紹介します。

展示 花王国際子ども環境絵画コンテスト入賞作品展

花王国際子ども環境絵画コンテスト入賞作品を展示します。このコンテストは、世界中の子どもたちが「地球の環境・未来への想い」を込めて表現した作品を募集して受賞作品の展示を行うことで、世界中の人々の心を動かし、サステナブルなライフスタイルを実践するきっかけになることを願い、花王 株式会社が2010年から行っているコンテストです。



令和8年度 中央区総合環境講座

令和8年度は、海洋汚染と汚染の原因であるゴミの廃棄をひとつの論題に置き、また広く環境破壊を進める生活と社会の行動について学び、区民の立場から行動に向けたきっかけを考えます。

日時 6月17日(水)～12月5日(土) 全9回

場所 環境情報センター「エコノバ」研修室 他

対象 18歳以上の区内在住・在勤・在学者
(全9回の講座にできるだけ参加いただける方)

定員 30名(申込多数の場合は抽選)

参加費 無料 受付期間 5月15日(金)～6月7日(日)

申込方法 電話・窓口・環境情報センター「エコノバ」HP いずれかでお申込みください。

第1回

脱炭素社会にどう転換するか？
～海外と国内の事例で考える～

6月17日(水) 18:30-20:30

講師／柳下 正治 氏

一般社団法人 環境政策対話研究所代表理事

第2回

南極の海と氷から探る
地球環境の変化

7月15日(水) 18:30-20:30

講師／牛尾 収輝 氏

国立極地研究所 南極観測センター 教授

第3回

なぜ金継ぎが世界から再注目
されるのか～器を「直す」選
択と持続可能な社会～

8月19日(水) 18:30-20:30

講師／俣野 由季 氏

株式会社 つぐつぐ代表取締役

第4回

コンポストで暮らしの中に
循環を生み出そう

9月2日(水) 18:30-20:30

講師／西川 美和子 氏

NPO法人コンポスト東京副代表理事／コンポストフ
レンス店主／キエーロオフィシャル認定アドバイザー

第5回

地球温暖化 × 天気の体調不良
～変わり始めた“当たり前”～

9月16日(水) 18:30-20:30

講師／山田 真実 氏

気象予報士・防災士、気象防災アドバイザー、
日本生気象学会 気象病・気象痛委員

第6回

日本のエネルギーの
「これまで」と「これから」2026

10月7日(水) 18:30-20:30

講師／木村 浩 氏

木村学習コンサルタンツ 代表

第7回

地球温暖化での空と海、そし
て人 ー地球を冷やすにはー

10月21日(水) 18:30-20:30

講師／植松 光夫 氏

埼玉県環境科学国際センター・総長、
東京大学名誉教授

第8回

まちと若者の“やる気スイッチ”2026
ー社会変容の研究と実践から、エコ
アクションへのヒントを探るー

11月18日(水) 18:30-20:30

講師／横尾 俊成 氏

Co-Innovation University 准教授、
株式会社まちのプロデューサーズ 代表取締役

第9回

環境配慮型施設見学

12月5日(土) 14:00-16:00

講師／岩本 純 氏

東京建物株式会社

今年の講座風景

生活の中のエネルギーと省エ
ネについて話し合い、熱心に
意見交換したグループワーク。



環境問題の解決には、他
者とのコミュニケーション
が必要との講師の話しに、
テーブルごとに熱心な
ディスカッションを展開。



講師の実体験に基づく
コミュニティの広げ方
について、受講者がそ
れぞれ感じ取っている
姿が印象的でした。

